

# 「小学校の先生に6年修学旅行の説明を依頼されました」 ～古代国家の歩みと東アジア世界～

本単元で育成する資質・能力

主体性・課題解決力・ふりかえり力（メタ認知）

日時 平成30年6月28日（木） 6校時（15：00～15：50）  
場所 1年A組教室  
学年・組 第1学年A組（男子17名、女子9名、計26名）

## 1 単元観

本単元は、学習指導要領の歴史的分野B＜近世までの日本とアジア（1）古代までの日本（ウ）律令国家の形成＞では、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解できるようにするとある。

また、「課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する」ことと、その際、次の2点が留意点として示されている。

ア 次のような知識を身に付けること。

（ウ）律令国家の形成

（エ）古代の文化と東アジアとの関わり

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

（ア）東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、

アの（ウ）（エ）について古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。

（イ）古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。

本時及び本単元では、各時代の特色を大きく捉え、政治の展開、産業の発達、社会の様子、文化の特色など他の時代との共通点や相違点に着目して、学習した内容を比較したり関連付けたりするなどして、その結果を言葉や図などで表したり、互いに意見交換したりする活動をし、時代の特色を自分の言葉で表現できるような「確かな理解と定着を図る」ことが求められる。

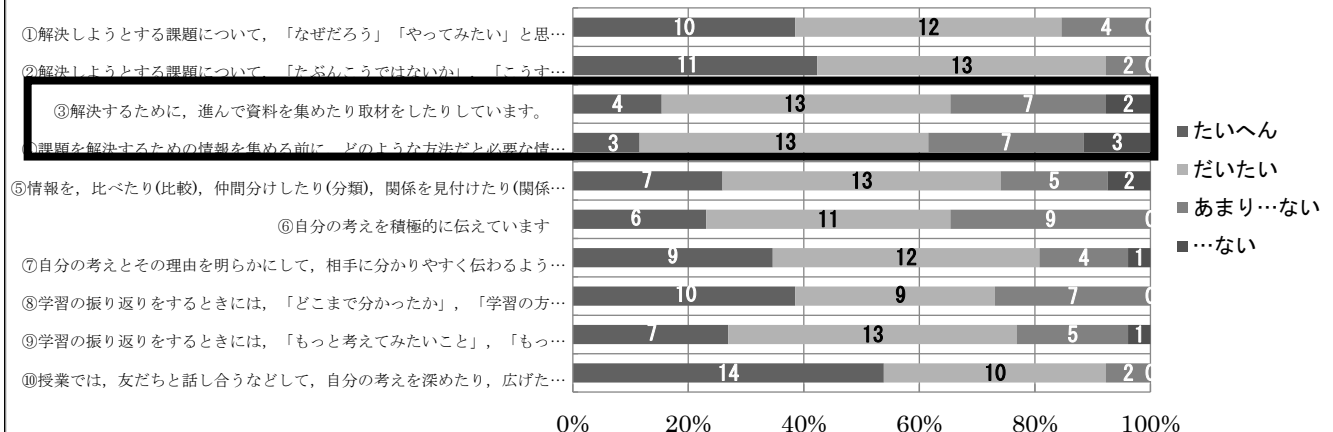
そのために、小学校6年生の修学旅行で京阪神地域に行ってみて来たこととつなげていく。さらに、後輩の現6年生の修学旅行の事前学習として、担任の先生からこの単元に関わる内容の説明を依頼されたというパフォーマンス課題を設定することでオーセンティックな課題を設定した。

パフォーマンス課題においては、国語科で学習した相手意識を持った話し方や文章作成の学習を活かす。

## 2 生徒観

### 社会の授業では

（人数/26人）



本学級生徒は、5月に実施したアンケートによると、「授業では、解決するために、進んで資料を集めた

り取材したりしています。」、「授業では、課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。」の「たいへんあてはまる」と答えた生徒の割合がそれぞれ 15.4%、11.5%と他の項目より低いことから情報収集の場面に課題があることが分かった。

また、別の項目で「わからない地名や興味を持った地名があった時に地図帳で調べています。」という設問に「あまりあてはまらない」という生徒が 53.8%もいた。

### 3 指導改善のポイント

前述のような生徒実態を受けて、指導にあたっては、以下の工夫を行う。

#### (1) 主体的・対話的で深い学びに向けた指導の工夫

- ・課題設定の場面で、生徒に疑問や違和感、必要性等を持たせる工夫をし、生徒自らの課題意識へとつなげ、「めあて」を持たせる。
- ・身近なことと関連づけて興味や関心を高め、生徒の学習の主体性を高める。
- ・教科書や地図帳・資料集等にある資料から、積極的に情報を収集し、主体的に課題解決を図ろうと探究する態度を養う。
- ・この単元で学習したことや既習事項、また資料等から読み取ったことなどの知識を用いて、それをノートに書いたり説明したりして表現させる。
- ・他の生徒の調べたことをしっかり聞かせたり、自分の考えを説明させ意見をもらったりすることで、一人では到達できなかった深い思考に到達させるために、議論する活動を行う。

#### (2) 振り返り場面の指導の工夫

- ・単元中の1つの授業ごとに生徒がその授業の中で目指すべき到達地点（Iレベル：新たにわかったことは何か、Cレベル：他単元や他教科で学んだこととのつながり、Eレベル：日常生活に生かせること等）を明示し、振り返りの視点を明確にする。
- ・振り返りをするときには、「どこまで分かったか」で終わるのではなく「もっと考えてみたいことや調べてみたいこと」や他単元・他教科・日常生活とのつながりについても記述するよう指導する。

#### (3) 生徒の実態に合わせた指導の工夫

- ・単元の最初の授業で単元全体の流れ及び最終ゴールを提示することにより、学習の見通しをもたせる。
- ・歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決するために、諸資料から歴史に関する様々な情報収集できるよう、黒板に調べる諸資料のある教科書や資料集等のページを提示する。

#### (4) 本校が目指す3つの資質・能力を身につけさせる工夫

- ・生徒が「なぜだろう？」と考えようとする必然性を与えることで探究心に火をつけ、生徒の「主体性」を引き出す。
- ・他の時代との共通点や相違点に着目して、学習した内容を比較したり関連付けたりするなどして、その結果を言葉や図などで表したり、互いに意見交換したりする活動をし、時代の特色を自分の言葉で表現できる「課題解決力」を育む。
- ・授業のまとめの場面では、その時間の目標（課題）に対する答えを、生徒の言葉で説明させ、「振り返り力」を育む。

### 4 単元の目標と評価規準

<単元の目標>

- ・律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを通して、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族の政治が展開したことを理解させる。
- ・仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを通して、国際的な要素をもった文化が栄え、後に文化の国風化が進んだことを理解させる。

<評価規準>

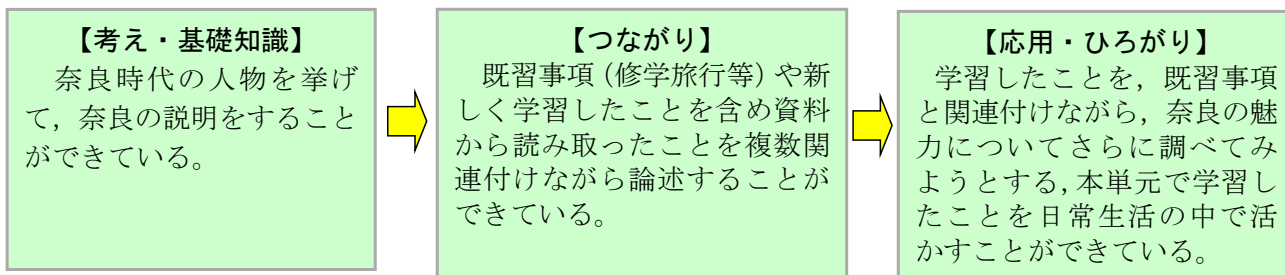
ア 社会的な事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断・表現	ウ 資料活用の技能	エ 社会的な事象についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国における国家の形成、律令国家の確立と天皇や貴族の政治の展開、国際的な要素を持った文化と文化の国風化など、古代までの歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、古代までの特色をとらえようとするとともに、古代までの文化遺産を尊重しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などに関する様々な試料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</li> <li>仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などに関する様々な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇や貴族の政治が展開したことを理解し、その知識を身に付けている。</li> <li>国際的な要素を持った文化が栄え、後に文化の国風化が進んだことを理解し、その知識を身に付けている。</li> </ul>

## 5 指導と評価の計画

○本単元で身に付けさせたい資質・能力と評価規準

資質・能力	評価規準		
	I (基礎知識)	C (つながり)	E (応用)
主体性	○疑問や違和感等から課題を見つけ、身近なことも関連づけて興味や関心を高め、課題を解決しようとしている。	○考えたことを伝えあい、話し合いを通して、自分と異なる意見と向き合い、議論しようとしている。	○学んだことを生かすために他の時代の学習につなげたり、現代につなげたりして新たな活動を創り出そうとしている。
課題解決力 (探究力)	○課題解決に必要な資料を収集・選択するとともに、資料から必要な情報や事実を読み取ることができる。	○課題解決に向けて、読み取ったことを比較・関連付け・総合しながら再構成し、社会的事象の意義・意味を解釈し、自分の言葉で表現することができる。	○学んだことと結び付けて、歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題解決や探究に取り組むことができる。
ふりかえり力 (メタ認知力)	○諸資料から歴史に関する様々な情報を新しく学習した内容が理解できているかが分かっている。	○新しく学んだ内容を、政治・経済・文化など様々な視点で、既習事項や身近なことから、日常生活等とつなげることができているかが分かっている。	○新しく学んだ内容を、応用して日常生活・社会生活・自己の変容等につなげることができているかが分かっている。

【ICEモデル】



(全8時間)

次	学習活動	生徒の思考の流れ	観点				評価	
			関	表	理	知	◇評価規準	★資質・能力(評価方法)
1	<b>課題の設定</b>	本時の目標：パフォーマンス課題について理解し、解決するための見通しを考えることができる。						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2つの小学校から事前学習の説明の依頼を受けたことを知る。</li> <li>○【パフォーマンス課題の提示】</li> <li>◆小学生に説明するのでわかりやすく説明することを確認する。</li> <li>○今後の授業で学んだことを基に説明するために、情報を収集し整理することが必要であることを知り、学習の見通しを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習の説明ってどうすればいいのだろう。</li> <li>・何を説明するのだろう。</li> <li>・難しい言葉は使えないな。</li> <li>・しっかり学んだことを整理しよう。</li> </ul>	○					◇小学生に説明するために、どのような表現を使えば伝わるのかを考えようとしている。(行動観察)
<p>(単元を貫く課題) 奈良について今習っていることをもとに6年生にわかりやすく、歴史上の人物を一人挙げて、説明する。</p>								
2	<b>情報収集①</b>	本時の目標：聖徳太子は、どのような政治を目指したかを説明できる。						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○聖徳太子の政治改革について小学校で習ったことを挙げる。</li> <li>○聖徳太子はなぜそのような政治をしたかを考える。</li> <li>○飛鳥文化について資料を基に調べる。</li> <li>◆小学校で行った修学旅行のことを思い出させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十七条の憲法を作った。</li> <li>・冠位十二階の制度を作った。</li> <li>・遣唐使を派遣した。</li> <li>・蘇我氏と一緒に政治をするため。</li> <li>・天皇中心の政治をするため。</li> <li>・法隆寺がある。</li> <li>・聖徳太子が建てたんだ。</li> <li>・修学旅行で行ったよね。</li> <li>・おもしろい柱があったよね。どこの影響だったっけ。</li> </ul>		○				◇聖徳太子の政治改革と飛鳥文化に関する情報を収集し、わかったことを整理している。(ノート)  ★課題解決に向けて、必要な情報を収集している。(行動観察・ノート)【主体性】
3	<b>情報収集②</b>	本時の目標：中大兄皇子は、なぜ大化の改新を行ったのかを説明できる。						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大化の改新についてなぜ中大兄皇子は蘇我氏を倒したかを考える。</li> <li>○唐と朝鮮半島諸国との関係から日本がどのような状況になったかを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蘇我氏が勝手なことをするから。</li> <li>・蘇我氏が邪魔だった。</li> <li>・自分中心の政治をするため。</li> <li>・日本がピンチになった。</li> <li>・白村江の戦いがあった。</li> <li>・攻めてくるかもしれないから九州を防備した。</li> </ul>						◇大化の改新に関する情報を収集し、わかったことを整理している。(ノート)  ★課題解決に向けて、必要な情報を収集している。(行動観察・ノート)【主体性】
4	<b>情報収集③</b>	本時の目標：調べたり議論したりした情報を基に奈良時代に何が変わったのかを説明できる。						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○修学旅行のランキングを予想する。</li> <li>○他の地域と比較して、なぜ奈良なのかを考える。</li> <li>○年表を開き奈良の表記を探す。</li> <li>○奈良の地名と時代名との関係を基に、課題を考える。</li> <li>○3つの視点から、奈良の歴史について調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2位は奈良。</li> <li>・京都や奈良は寺や神社など古い建物が多。</li> <li>・歴史がある。</li> <li>・710年奈良(平城京)に都を移す。</li> <li>・政治…律令, 大宝律令, 貴族, 平城京</li> <li>・経済…貨幣, 和同開珎,</li> </ul>	○	○	○			

	<p>○探したことを基に発表する。</p> <p>○発表した内容で疑問があれば、質問し、その質問に答える。</p> <p>○3つの視点でそれぞれ出された事例が、何のために作られたかを考え、発表する。</p> <p>○課題に沿って分かったことをノートに記述する。</p> <p>○発表する。</p>	<p>富本銭、市…</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物…東大寺、大仏、正倉院、平城京、国分寺、国分尼寺</li> <li>・律令って何ですか。</li> <li>・富本銭って奈良時代より前では？</li> </ul> <p><b>政治</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりがなかったため。</li> <li>・政治のしくみがなかったため。</li> <li>・天皇中心の政治をするため。</li> <li>・全国を支配するため</li> </ul> <p><b>経済</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市ができたため。</li> <li>・各地から都に産物が送られてきたため。</li> </ul> <p><b>建物</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仏教の力にたよったため</li> <li>・伝染病や災害などの不安があったため。</li> <li>・国家を仏教の力によって守るため。</li> </ul>				<p>◇奈良について、多面的・多角的に考察し、様々な資料等の情報や議論したことを適切にまとめている。(ノート)</p>
5	<p><b>情報収集④</b></p> <p>○奈良時代の民衆の生活について調べる。</p> <p>○貴族の生活と比較する。</p>	<p>本時の目標：律令国家の下で、人々はどうのような生活をしていたかを説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貧しい。</li> <li>・食べるものが少ない。</li> <li>・堅穴住居に住んでいる。</li> <li>・税や労役、兵役で苦しんでいる。</li> <li>・貴族はぜいたくな暮らしをしている。</li> <li>・民衆から税を取っているから高収入である。</li> </ul>			○	<p>◇奈良時代の民衆の生活に関わる情報を収集し、調べたことやわかったことを整理している。(ノート)</p> <p>★課題解決に向けて、必要な情報を収集している。(行動観察・ノート)【主体性】</p>
6	<p><b>情報収集⑤</b></p> <p>○奈良時代の文化について資料を基に調べる。</p> <p>◆小学校で習ったことや修学旅行のことを思い出させる。</p>	<p>本時の目標：奈良時代の文化はどうのような特色を持っていたかを説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東大寺の大仏がある。</li> <li>・鑑真って何回も日本渡航に失敗したんだよね。</li> <li>・万葉集もあるよ。</li> <li>・古事記と日本書紀って何何だろう。</li> </ul>			○	<p>◇奈良時代の文化に関わる情報を収集しわかったことを整理している。(ノート)</p> <p>★課題解決に向けて、必要な情報を収集している。(行動観察・ノート)【主体性】</p>
7 8	<p><b>整理・分析</b></p> <p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <p>○これまでの学習を基に説明する文章を考える。</p> <p>○班の中で交流し、改善点を出し合う。</p> <p>○最終の原稿を完成させる。</p>	<p>本時の目標：奈良と京都について6年生にわかりやすく説明する原稿を作ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生にわかりやすい文章は難しいな。</li> <li>・この言葉分かるかな。</li> <li>・この言い方はわかりにくいんじゃないかな。</li> <li>・その説明いいから参考にしよう。</li> <li>・本当にわかりやすい文章になったかな。</li> </ul>			○	<p>◇聞き手を意識しわかりやすい説明ができています。(レポート)</p> <p>★国語科の活動の中で学んだ技術を用いながら、相手を意識した原稿を作成することができています。(レポート)【課題解決力】</p>

## パフォーマンス課題

育てたい資質・能力	課題解決力（探究力）
教科の評価規準	他の時代との共通点や相違点に着目して，学習した内容を比較したり関連付けたりするなどして，その結果を言葉や図などで表したり，互いに意見交換したりする活動をし，時代の特色を自分の言葉で表現できる。

### パフォーマンス課題のシナリオ

三和小学校と来見小学校の6年生の担任の飯干先生と高石先生から依頼がありました。来月修学旅行に行くので，事前学習でゲストティーチャーとして奈良について今習っていることをもとに6年生にわかりやすく説明してほしいということでした。

さて，あなたならどういうふうに説明しますか。歴史上の人物を一人挙げて，説明する原稿を作りなさい。小学校の教科書も参考にしながら，考えてもよい。なお，専門的な用語については，分かりやすい説明を付け加えること。

### 予備的ルーブリック

尺度 (評点, レベル)	記述語 (パフォーマンスの特徴)
3 理想的	2の内容だけでなく，日常生活や現代とのつながりにも着目して，学習した内容を比較したり関連付けたりするなどして，時代の特色を自分の言葉で表現できている。また，相手意識を持ち，わかりやすい表現で説明している。
2 合格	他の時代との共通点や相違点に着目して，学習した内容を比較したり関連付けたりするなどして，時代の特色を自分の言葉で表現できている。
1 乗り越えさせたい実態	学習した内容を使って，歴史上の人物も挙げて，奈良について表現できている。

## 6 本時の学習

### (1) 本時の目標

なぜ，奈良が修学旅行先に選ばれるのかを，歴史的背景を基に，多面的・多角的に考察し，3つの視点で説明することができる。

### (2) 本時の評価規準

・律令国家の確立に至るまでの過程について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現していると同時に，様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択し，読み取ったり図表などにまとめたりしている。（課題解決力）

### (3) 準備物

教師：パソコン，大型ディスプレイ，事例の教材，他  
生徒：教科書，資料集，ノート

(4) 本時の展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準 (評価方法)	資質・能力 (評価方法)										
<b>1 本時の課題を発見する。〔7分〕</b>													
<p>○中学生の修学旅行先ランキング2位を予想する。 ・沖縄 ・広島 ・奈良</p> <p>○他の地域と比較して、なぜ奈良なのかを考える ・東京は首都。 ・千葉はディズニーランド。 ・大阪は日本第二の都市。 ・京都や奈良は寺や神社など古い建物が多 い。</p> <p>○年表を開き、奈良の表記を探す。 ・奈良時代。 ・710年奈良に都を移す。</p> <p>○奈良という地名と時代名との関係を基に、今日の課題を考える。</p>	<p>◇修学旅行先のランキング表を考えることにより、奈良に興味関心を持たせる。時間をかけないようにする。</p> <p>◇他の地域と比較させて、「歴史」というキーワードに気付かせる。 ◆小学校での既習・体験を思い出させる。</p> <p>◇資料(年表)を調べることにより課題を主体的に追究しようという意欲を持たせる。 ◇奈良という地名が時代の名前になっていることに気付かせる。</p> <p>◇奈良時代という名前がつくには何かこの時代に大きな出来事があったはずであることに興味を持たせ、課題を解決させようという必然性を持たせて課題を設定させる。 ◆難しいようであれば、ヒントを与える。</p>												
<p><b>本時の目標：調べたり議論したりした情報を基に奈良時代に何が変わったのかを説明できる。</b></p>													
<p>○本時の流れを知り、ゴールを意識する。</p>	<p>◇授業の流れを説明する。</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">学習の流れ</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px;">1</td> <td>手がかりを探す</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>調べ考え議論する</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>一人一人が理由をノートに書く</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>発表する</td> </tr> </table>		学習の流れ		1	手がかりを探す	2	調べ考え議論する	3	一人一人が理由をノートに書く	4	発表する
学習の流れ													
1	手がかりを探す												
2	調べ考え議論する												
3	一人一人が理由をノートに書く												
4	発表する												
<b>2 情報を収集し、整理する。〔10分〕</b>													
<p>○3つの視点から奈良の歴史について調べる。(個人思考7分) ・政治 ・経済(お金) ・建物(町並み)</p>	<p>◇3つの視点を示し、1つの視点ごとに2班ずつ割り当て課題に取り組ませる。 ◇手がかりとなる資料のある場所を黒板に提示する。 教科書p42, 43, 46, 47 ◇答えの型を示す。 (~ができる) (~のため) ◆太字に着目することを机間指導しながらアドバイスする。</p>	<p style="background-color: #90EE90; padding: 2px; display: inline-block;"><b>個人思考</b></p>	<p>主体性(ノート)</p>										

<p>○探したことを基に発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政治…律令, 大宝律令, 貴族, 平城京</li> <li>・経済…貨幣, 和同開珎, 富本銭, 市…</li> <li>・建物…東大寺, 大仏正倉院, 平城京, 国分寺, 国分尼寺</li> </ul> <p>○発表した内容で疑問があれば, 質問し, その質問に答える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・律令って何ですか。</li> <li>・富本銭って奈良時代より前では?</li> </ul>	<p>◇積極的に発言できるよう, 肯定的評価をしながら促す。</p> <p>◇発表した内容を整理し必要によっては補足する。</p> <p>◇既習事項とのつながりにも着目させる。</p> <p>◇自分の調べた視点以外にも関心を持たせる。</p>	<p><b>全体思考</b></p>	
<p><b>3 新たな課題の解決に向けて議論する。〔23分〕</b></p>			
<p>○3つの視点でそれぞれ出された事例が, 何のために作られたかを考え, 班で交流した後, 発表する。</p> <p><b>政治</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりがなかったため。</li> <li>・政治のしくみがなかったため。</li> <li>・天皇中心の政治をするため。</li> <li>・全国を支配するため</li> </ul> <p><b>経済</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市ができたため。</li> <li>・各地から都に産物が送られてきたため。</li> </ul> <p><b>建物</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仏教の力にたよったため。</li> <li>・伝染病や災害などの不安があったため。</li> <li>・国家を仏教の力によって守るため。</li> </ul>	<p>◇調べたことを基に, 理由を積極的に発表させる。</p> <p>◇既習事項とのつながりにも着目させる。</p> <p>◇意見が出にくい場合は, 前の時代との比較をするよう促す。</p> <p>◇コーディネーターの役割をし, 説明は控え生徒の意見を引き出させる。</p> <p>◇人の意見をしっかり聞いて次のまとめにつなげるよう指導する。</p> <p>◆キーワードを板書し, 次のまとめに活かせるようにする。</p>	<p><b>個人思考</b></p> <p><b>グループ思考</b></p> <p><b>全体思考</b></p>	<p>課題解決力(ノート, 行動観察)</p>
<p><b>4 学習のまとめをし, 本時を振り返る。〔10分〕</b></p>			
<p>○課題に沿って分かったことをノートに記述する。</p> <p>○ノートに書いたことを発表する。</p>	<p>◇今日の授業で学んだことを基に, 前の時代と何が変わったかをノートに記述させる。</p> <p>◆机間指導でアドバイスをする。</p> <p>◇2~3名を指名し発表させる</p> <p>◇自分の記述と比べながら他の説明を聴いて, 考えを深めさせる</p>	<p>・奈良について多面的・多角的に考察し, 様々な資料等の情報や議論したことを適切にまとめている。(ノート)</p>	<p>振り返り力(ノート)</p>



# 板書計画

本時の目標 6/28 P42 資 P33	調べたり議論したりした情報を基に奈良時代に何が変わったのか				学習の流れ 1 手がかりを探す 2 調べ考え議論する 3 一人一人が理由をノートに書く 4 発表する
	修学旅行先 ランキング 1 京都 2 3 東京 4 千葉 5 大阪	なぜ奈良なのか	政治	経済	建物
		～ できた	～ できた	～ できた	
	何のために作られたか	～ のため	～ のため	～ のため	

# 検 証

## 検証の方法

- 平成 30 年度標準学力調査の結果を分析する。
- 平成 30 年度 2 学期中間試験問題の結果を分析する。